

# 平成29年度事業報告について

# 茨城支部事業運営における主な数値指標

事業項目			29年度 目標	29年度 実績 ( ) 内は前年度	全国 ( ) 内は前年度	
サービス関係	1	サービススタンダードの遵守	健康保険給付の受付から振込までの日数 (10営業日)の目標の達成率	100 %	100.0 % (100.0 %)	99.99 % (99.99 %)
			健康保険給付の受付から振込までの日数	10営業日以内	7.71 日 (7.62 日)	8.03 日 (8.11 日)
保健事業関係	2	健診の実施	生活習慣病予防健診 実施率 (被保険者)	58.5 %	53.3 % (51.2 %)	49.6 % (48.5 %)
			特定健康診査 実施率 (被扶養者)	31.0 %	27.9 % (29.9 %)	23.2 % (22.2 %)
	3	事業者健診の取得	事業者健診データの取得率 (被保険者)	16.5 %	8.5 % (9.7 %)	6.4 % (6.2 %)
	4	保健指導の実施	特定保健指導実施率 (終了者)	被保険者	16.0 %	16.6 % (15.3 %)
被扶養者				10.0 %	3.6 % (0.9 %)	4.5 % (3.6 %)
医療費適正化等関係	5	レセプト点検効果額	加入者1人当たり診療内容等査定効果額 (医療費ベース)	290 円	267 円 (265 円)	144 円 (143 円)
	6	ジェネリック医薬品の使用促進	ジェネリック医薬品使用割合 (年度平均) 数量ベース	67.6 %以上	71.1 % (67.6 %)	72.1 % (68.8 %)
	7	加入者・事業主への広報	メールマガジンの新規登録件数 [メールマガジンの登録件数 (30年3月)]	240 件	831 件 (447 件) [2,270 件 (1,563 件)]	30,479 件 (20,873 件) [115,154 件 (91,871 件)]

# 茨城支部の運営状況(平成29年度)

		茨		城			
概況 ( )内は前年度の値		加入者数		事業所数			
		被保険者数 ① 417,745 人 ( 401,003 人 )		35,133 ヶ所 ( 32,356 ヶ所 )			
		うち任意継続被保険者数 3,197 人 ( 3,387 人 )		標準報酬総額			
		被扶養者数 ② 276,659 人 ( 272,292 人 )		1,606,212 百万円 ( 1,521,265 百万円 )			
		加入者計 (①+②) 694,404 人 ( 673,295 人 )		保険給付費			
				99,662 百万円 ( 93,496 百万円 )			
		常勤職員	35 人	契約職員	50 人		
健康 保険 給付 等	各種証発行	健康保険証		高齢受給者証(新規発行数)		限度額適用認定証(年度末現在有効数)	
		173,221 件		8,048 件		21,974 件 (14,249)	
	現金給付	高額療養費		傷病手当金		出産育児一時金	その他の現金給付
		15,157 件		20,810 件		7,160 件	204,578 件
	各種サービス	高額査定通知		ターンアラウンド通知		医療費通知(インターネット)	口座振替(任継)
229 件		11,538 件		360,510 (157)	999 件		
レセプト点検実績 (加入者1人当たり効果額)		資格点検		内容点検		診療内容等査定効果額	外傷点検
		1,032 円		545 円		267 円	175 円
福祉事業/その他		高額医療費貸付件数		出産費用貸付件数		健康保険委員委嘱者数	
		19 件		2 件		4,113 人	

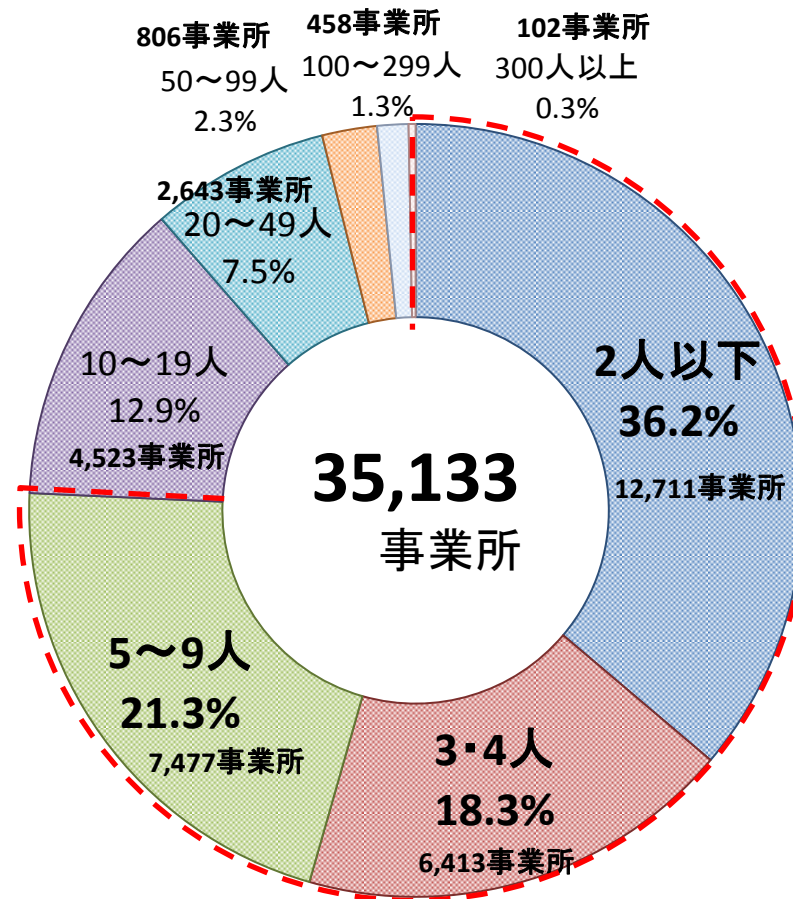
# 茨城支部の運営状況(平成29年度)

保 健 事 業	健診		被保険者		被扶養者		
			生活習慣病予防健診(受診率)	乳がん・子宮頸がん検診	特定健診(受診率)		
			140,946 件 (53.3%)	25,651 件	20,779 件 (27.9%)		
	保健指導		被保険者(特定保健指導)(実施率)			被保険者(その他の保健指導)	
			初回面談 6,742 件 (19.0%)	6ヶ月後評価 5,888 件 (16.6%)		774 件	
データ ヘルス	上位目標	・茨城支部被保険者のメタボリックリスク保有割合を2%以上減少させる					
	主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくり推進宣言の事業所拡大及び健康経営セミナー開催による健康経営の普及促進</li> <li>・従業員数の多い運輸業者とのコラボヘルスの実施</li> </ul>					
保険者機能発揮のための 具体的な取組			<b>【医療等の質や効率性の向上】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療構想調整会議における意見発信、第7次保健医療計画に対する意見発信</li> <li>・二次医療圏別患者受療動向等のデータ分析に基づいた各種会議における意見発信</li> </ul> <b>【加入者の健康度を高めること】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体、県及び大学と連携した減塩対策の実施</li> <li>・食の健康づくり支援のため茨城県と連携した健康づくり支援店普及啓発ポスターの作成・配布</li> <li>・茨城県との連携による禁煙認証制度、ヘルスロードウォーキング等の健康づくり事業の実施</li> <li>・生活習慣病予防健診の受診率向上(県、労働局との三者連名漫画パンフレット作成、健診機関の拡大)</li> <li>・特定健診の受診率向上(全市町村の集団健診日程表同封、健診未受診者への受診勧奨)</li> <li>・事業者健診結果データ取得、健康経営の普及促進を目的とした職員による事業所訪問</li> </ul> <b>【医療費等の適正化】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後発医薬品使用割合分析の実施と分析結果を踏まえた後発医薬品使用促進検討会議での意見発信</li> <li>・薬局向けの後発医薬品使用割合に関する分析資料の情報提供実施</li> <li>・レセプト点検の強化(自動点検マスタの精査、支払基金との定例会開催、点検員全員の情報共有化)</li> <li>・保険証の早期回収、弁護士名による返納金催告、法的手続きによる債権回収強化</li> </ul>				
			支部収支 (概要)		収入 (A)		支出 (B)
			[保険料収入]		[医療給付費(調整後)]	[特別計上]	[地域差分]
予算	153,157	[ 152,893 ]	153,157	[ 79,066 ]	[ 0 ]	± 0	[ 0 ]
決算	157,635	[ 157,378 ]	149,680	[ 79,742 ]	[ 0 ]	7,955	[ ▲158 ]
単位:百万円							

# 茨城支部事業概況（基礎データ）

# 規模別加入事業所数

規模（被保険者数）別事業所数（平成30年3月）

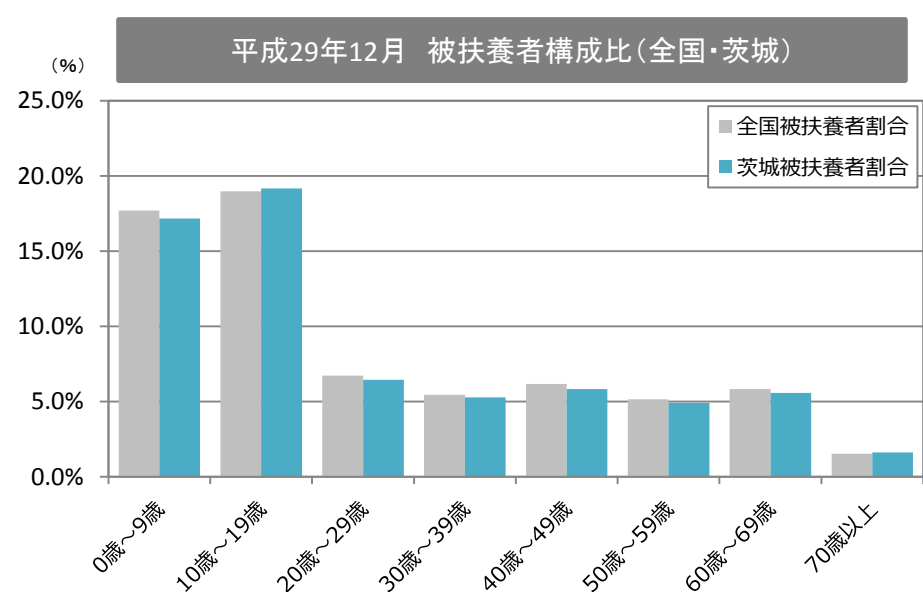
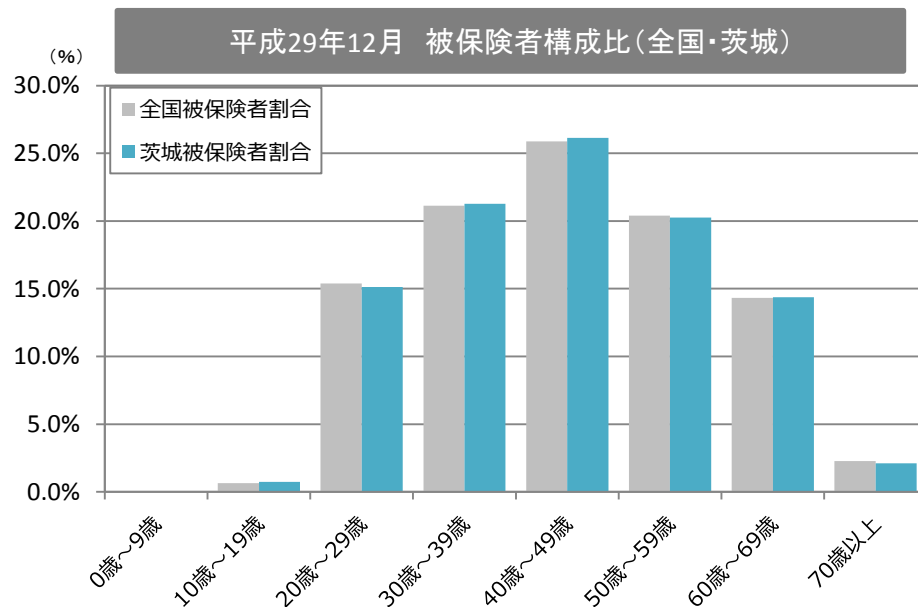


事業所の約3／4が  
従業員数9人以下

加入者数 : 694,262人  
被保険者数 : 417,645人  
被扶養者数 : 276,617人

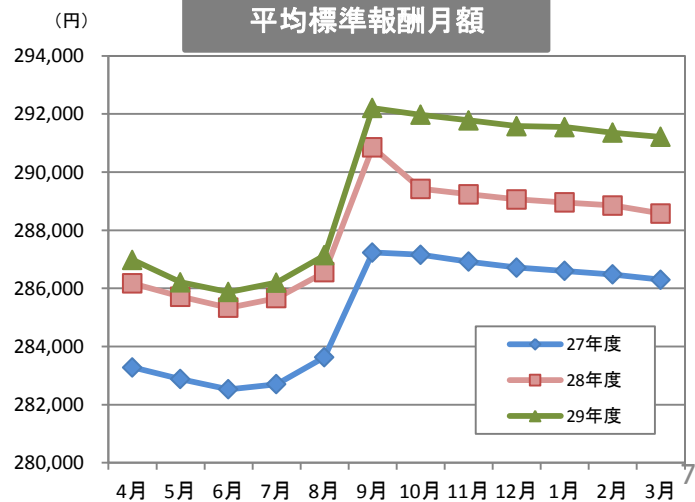
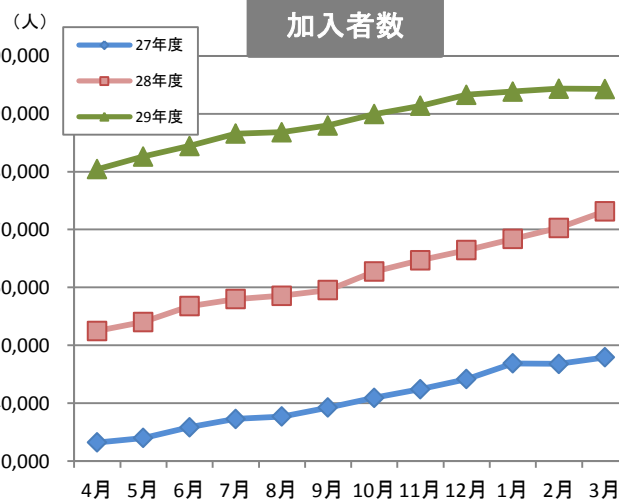
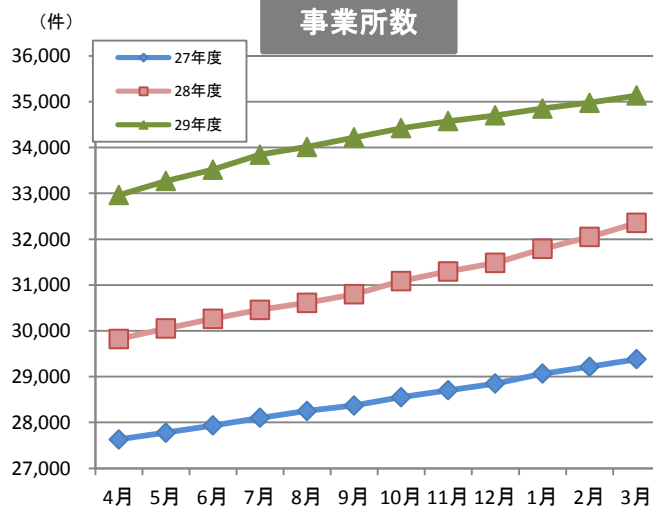
# 年齢階級別加入者数

	被保険者		被扶養者		茨城支部加入者		
	平成29年12月	前年同期差	平成29年12月	前年同期差	平成29年12月	前年同期差	対前年増減率
	0歳～9歳	0	0	71,732	1,463	71,732	1,463
10歳～19歳	3,134	▲ 50	80,069	2,849	83,203	2,799	3.48%
20歳～29歳	63,180	936	26,925	424	90,105	1,360	1.53%
30歳～39歳	88,845	1,444	22,016	▲ 346	110,861	1,098	1.00%
40歳～49歳	109,164	5,776	24,310	295	133,474	6,071	4.77%
50歳～59歳	84,606	6,139	20,485	739	105,091	6,878	7.00%
60歳～69歳	60,038	4,053	23,235	580	83,273	4,633	5.89%
70歳以上	8,817	1,704	6,720	815	15,537	2,519	19.35%
合計	417,784	20,002	275,492	6,819	693,276	26,821	4.02%



# 適用関係の推移

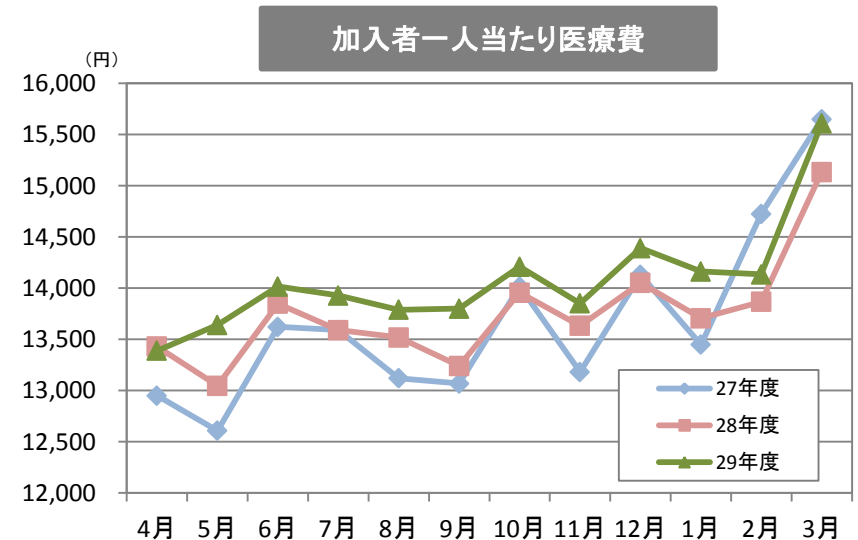
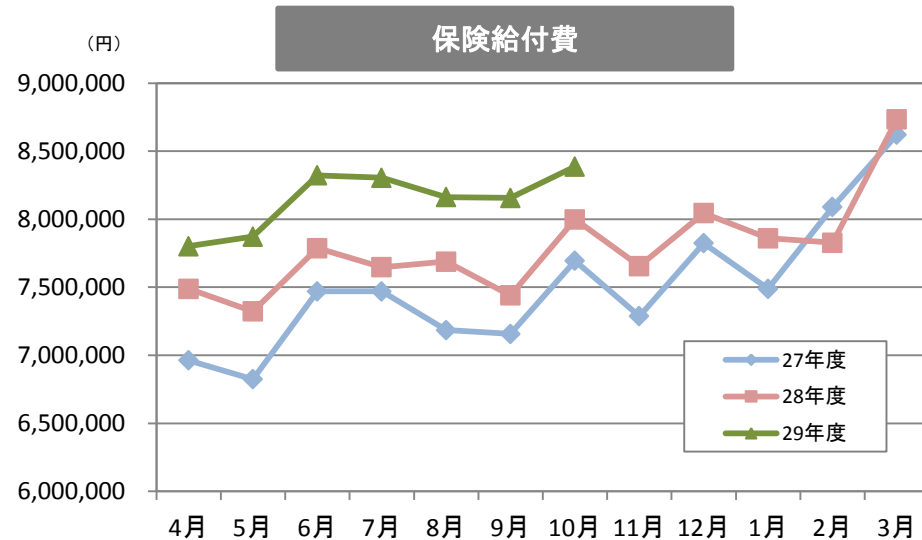
	事業所数(件)		加入者数(人)		被保険者数(人)		被扶養者数(人)		平均標準報酬月額(円)	
		対前年同期比		対前年同期比		対前年同期比		対前年同期比		対前年同期比
27年度平均	28,486		640,534		377,711		262,822		285,204	
28年度平均	31,006	8.84%	662,088	3.37%	394,424	4.42%	267,664	1.84%	287,867	0.93%
29年度平均	34,207	10.32%	688,820	4.04%	414,874	5.18%	273,946	2.35%	289,506	0.57%
29年4月	32,963	10.53%	680,439	4.28%	407,694	5.37%	272,745	2.70%	286,983	0.28%
29年5月	33,269	10.72%	682,602	4.37%	410,984	5.63%	271,618	2.52%	286,208	0.17%
29年6月	33,516	10.74%	684,446	4.21%	412,499	5.49%	271,947	2.34%	285,876	0.19%
29年7月	33,846	11.12%	686,561	4.34%	413,967	5.63%	272,594	2.45%	286,202	0.19%
29年8月	34,014	11.11%	686,814	4.29%	414,137	5.57%	272,677	2.40%	287,138	0.20%
29年9月	34,218	11.10%	687,969	4.31%	415,010	5.61%	272,959	2.40%	292,206	0.47%
29年10月	34,420	10.72%	689,930	4.10%	416,090	5.21%	273,840	2.46%	291,974	0.88%
29年11月	34,574	10.47%	691,370	4.01%	416,837	5.06%	274,533	2.46%	291,780	0.88%
29年12月	34,700	10.22%	693,276	4.02%	417,784	5.03%	275,492	2.54%	291,583	0.87%
30年1月	34,851	9.64%	693,838	3.81%	417,929	4.86%	275,909	2.25%	291,548	0.90%
30年2月	34,978	9.14%	694,330	3.59%	417,911	4.63%	276,419	2.05%	291,358	0.87%
30年3月	35,133	8.58%	694,262	3.14%	417,645	4.18%	276,617	1.61%	291,212	0.91%





# 保険給付費と1人当たり医療費の推移

	保険給付費(千円)		加入者一人当たり医療費(円)		入院		入院外		歯科	
		対前年同期比		対前年同期比		対前年同期比		対前年同期比		対前年同期比
27年度平均	7,506,115		13,675		3,541		8,542		1,442	
28年度平均	7,791,346	3.80%	13,751	0.56%	3,645	2.91%	8,505	▲0.43%	1,472	2.09%
29年度平均	8,143,717	4.52%	14,075	2.36%	3,745	2.76%	8,698	2.26%	1,500	1.91%
29年4月	7,801,728	4.18%	13,388	▲0.30%	3,559	6.05%	8,236	▲2.97%	1,468	0.06%
29年5月	7,871,445	7.49%	13,640	4.55%	3,639	2.94%	8,407	5.50%	1,464	3.27%
29年6月	8,322,715	6.88%	14,014	1.21%	3,751	▲1.00%	8,541	2.04%	1,589	2.22%
29年7月	8,304,176	8.59%	13,926	2.48%	3,749	1.72%	8,463	2.77%	1,581	3.01%
29年8月	8,161,915	6.16%	13,789	2.00%	3,922	0.93%	8,279	2.80%	1,452	0.86%
29年9月	8,156,710	9.62%	13,799	4.22%	3,739	4.91%	8,432	3.91%	1,496	4.59%
29年10月	8,387,327	4.85%	14,208	1.82%	3,901	7.08%	8,638	▲0.62%	1,536	3.12%
29年11月	統計システムの 集計内容精査中		13,850	1.60%	3,760	3.95%	8,473	0.43%	1,482	2.21%
29年12月			14,390	2.42%	3,709	3.49%	9,023	1.78%	1,524	3.52%
30年1月			14,161	3.33%	3,679	3.91%	8,988	3.77%	1,365	▲0.87%
30年2月			14,133	1.93%	3,692	2.30%	8,883	2.25%	1,429	▲1.18%
30年3月			15,605	3.12%	3,841	▲2.13%	10,013	5.49%	1,612	1.90%



# 事業進捗状況報告

# 業務関係・・・保険証回収率・郵送化率

## ◆保険証回収率(平成30年2月9日現在)

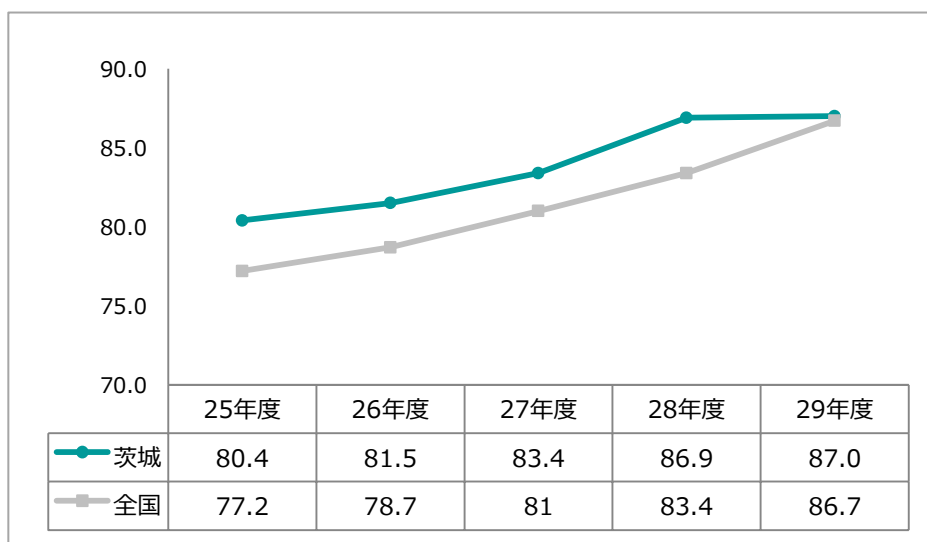
29年4月～30年1月 喪失者 累計回収率(一般)

	回収対象 枚数	回収済 枚数	回収率 (H29)	回収率 (H28)	対前年増減
茨城	98,183	95,891	97.67 %	98.24 %	▲0.57 %
全国	5,667,315	5,515,045	97.31 %	96.79 %	0.52 %

29年4月～30年1月 喪失者 累計回収率(任意継続)

	回収対象 枚数	回収済 枚数	回収率 (H29)
茨城	2,840	2,587	91.09 %
全国	279,261	253,427	90.75 %

## ◆申請書等郵送化率



# レセプト関係①・・・レセプト点検

## ◆レセプト点検効果額

29年度 各点検 の 効果額

	資格点検	外傷点検	内容点検
	加入者1人当たり効果額 (保険者負担分)	加入者1人当たり効果額 (保険者負担分)	診療内容等査定効果額※ (医療費ベース)
目標	1,267 円	180 円	290 円
茨城	1,032 円	175 円	267 円
全国	1,263 円	221 円	144 円

※ 再審査の結果査定された総医療費

### □ 資格点検

資格期間外診療分を点検により発見することによる。資格喪失後の受診が減れば効果額も減少する。

### □ 外傷点検

交通事故の後の求償や労災適用が判明することにより効果額として計上される。

### □ 内容点検

診療内容がルールに基づいているかチェックすることにより効果額として計上される。

# レセプト関係②・・・債権回収

## ◆債権回収状況(平成30年3月31日現在)

項目		調定額 A		総計 (現年度+過年度) B		回収額 C		回収率 (C/A)	
		件数	金額 (円)	件数	金額 (円)	件数	金額 (円)	件数	金額
全体	過年度	2,851	139,007,469	6,395	348,368,433	732	34,524,237	25.68 %	24.84 %
	現年度	3,544	209,360,964			2,776	162,393,063	78.33 %	77.57 %
	現年度 目標		207,003,000				171,163,000		82.69 %
返納金	過年度	2,803	129,813,180	5,818	247,300,920	723	33,731,332	25.79 %	25.98 %
	現年度	3,015	117,487,740			2,267	80,592,912	75.19 %	68.60 %
	現年度 目標		110,000,000				78,000,000		70.91 %
損害 賠償金	過年度	34	7,628,447	561	99,308,903	8	792,541	23.53 %	10.39 %
	現年度	527	91,680,456			507	81,607,383	96.20 %	89.01 %
	現年度 目標		96,000,000				92,160,000		96.00 %

### □ 損害賠償金債権

自動車事故による医療給付に対する求償が主なケース。通常はほとんど納付期限内納付となるが、平成29年度は年度末に500万円ほど次年度へ持ち越しとなる案件が発生したため、目標との乖離が大きくなった。

# 企画関係①・・・健康保険委員、メールマガジン

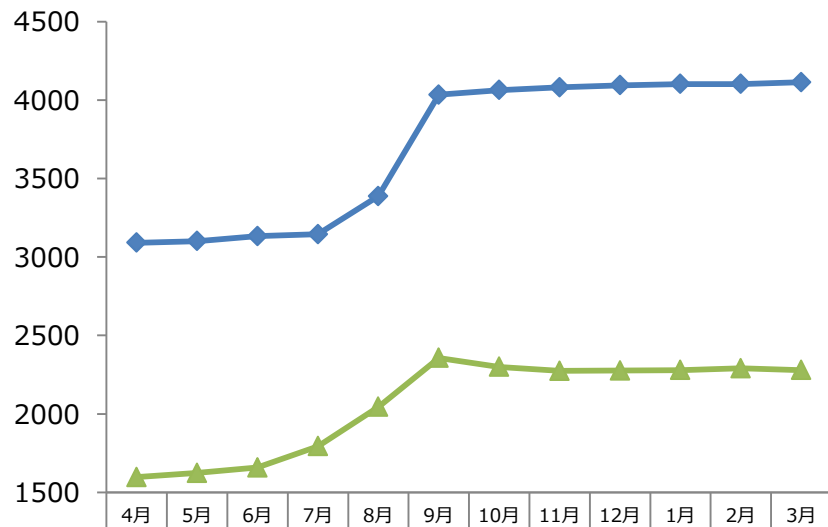
## ◆健康保険委員

- ・29年度 目標 …… 28年度実績 3,087名、被保険者カバー率38.55%を上回る
- ・29年度 実績 …… 4,113名、被保険者カバー率44.36%

## ◆メールマガジン

- ・29年度 目標 …… 新規登録 240件 (28年度実績 447件)
- ・29年度 実績 …… 831件、配信件数 2,270件

29年度 健康保険委員委嘱者数とメールマガジン配信件数の推移



◆健康保険委員委嘱拡大実施 (H29.8~9月)  
【対象】被保険者50名以上の事業所、新規適用事業所 (H28.9から適用)

↓左：健康保険委員登録勸奨文書、右：案内チラシ (裏面登録書)

平成29年9月8日

全国健康保険協会茨城支部  
支部長 徳宿 彰

社会保険事務担当者 (健康保険委員) の登録について

日頃より、全国健康保険協会 (協会けんぽ) 茨城支部の事業運営にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、協会けんぽでは事業所種と一掃となった事業所種を行うため、当支部との窓口となったご方を健康保険委員 (健康保険サポーター) として**最低1名ご登録**いただいております。(平成26年度より、健康保険委員の設置に関して健康保険法等で明文化されております)

貴事業所様におきましては、現在まだ健康保険委員のご登録をいただいておりますので、社会保険の事務担当者や健康保険の担当者様を、別紙にてご案内いたしますようお願い申し上げます。

詳しくは、同封のチラシ「健康保険委員をご登録ください」をご覧ください。裏面の「健康保険委員登録書」にご記入のうえ、**平成29年9月22日 (金) までにFAXまたは郵送でご提出**をお願いします。

※ご登録いただきますと、特典として健康保険制度や各申請手続きを解説した記載例付きのマニュアル本を贈呈いたします。  
また、健康保険の事務手続き等に関する研修会に無料で参加いただけ、事務担当者のスキルアップが期待できます。

【お問い合わせ先】  
全国健康保険協会茨城支部  
企画総務グループ 嶋田 酒井  
電話 029-303-1580 (直通)  
FAX 029-303-2100

～協会けんぽ加入者・事業主の皆様へ～

**健康保険委員をご登録ください**

協会けんぽでは、健康保険委員として事業所様の窓口になっていただく方を**最低1名ご登録**いただいております。(登録無料)

**健康保険委員って？**

★ 社内での頼れる相談役 ★

健康保険委員は、事業所様と協会けんぽを結ぶパイプ役として、従業員の方への周知広報や相談対応などにご協力いただいております。  
健康保険法で規定され、社会的にも認められた「健康保険サポーター」として、現在では全国で12万人以上の方が登録しています。

**どんな事をするの？**

**広報** 健康保険に関するパンフレットや広報誌を社員に目録・配布し、しょう

**相談** 労働相談に等する相談窓口の役割をアドバイザーとなりましょう。(不届きは、お電話に連絡してください)

**健康づくり** 従業員やご家族の健康増進・意識に即して、健康や安全指導の推進やラジオ体操などの健康づくりの企画をお願いします。

いつでも日々の仕事に支障のない範囲でご協力いただいております。

**特典1** 『協会けんぽのしおり』を差し上げます。(健康保険制度や各種申請手続きを解説したマニュアル本です。)

**特典2** 研修会に無料でご招待します。(健康づくりの情報提供や、健康保険の事務手続きなどの研修により、事務担当者としてのスキルアップが期待できます。参加は自由です。)

**特典3** 定期的に最新の情報をお送りします。(保険料率や医療制度改正など)

**特典4** 厚生労働大臣などの表彰を受けられます。(委員としての活動状況に応じて表彰制度があります。)

裏面の**健康保険委員登録書**にご記入後、9月22日(金)までにFAXまたは郵送でご提出ください。

**お問い合わせ先**

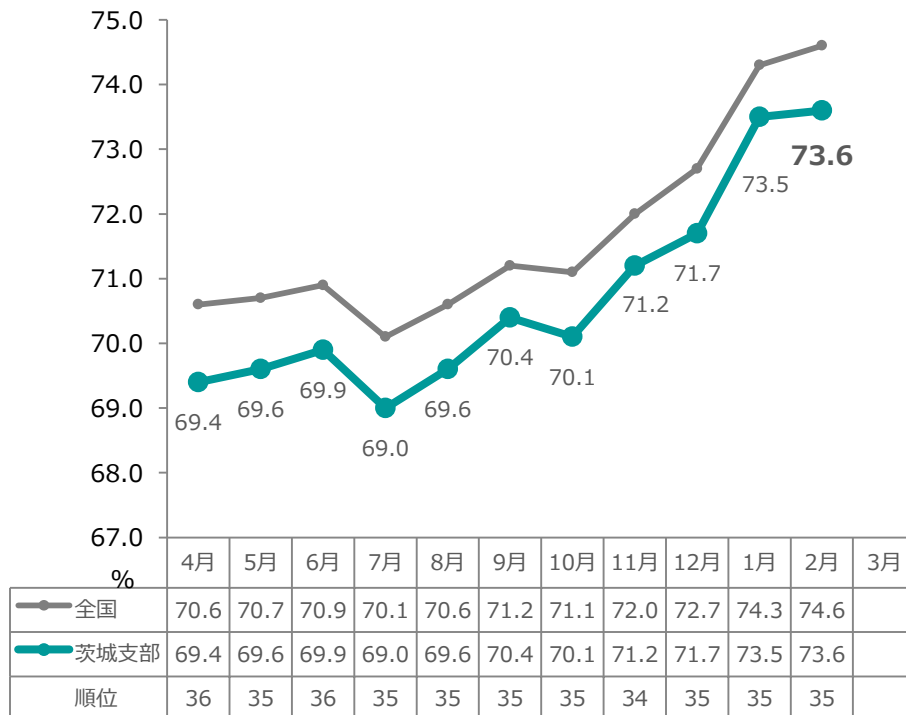
全国健康保険協会 茨城支部  
協会けんぽ  
http://www.kiyokaikenpo.or.jp/shibu/ibaraki/  
〒310-8502 水戸市南町3-4-57 水戸セントラルビル  
電話 029-303-1580  
FAX 029-303-2100 徳宿 嶋田 酒井

# 企画関係②・・・ジェネリック医薬品使用促進

## ◆加入者向け広報に加え、薬局向け通知の実施

- ・29年度 目標 …… 年度平均67.6%以上
- ・29年度 実績（暫定） …… 年度平均71.1% 【参考：平成30年2月診療分73.6%、全国35位】

29年度 ジェネリック医薬品使用割合（数量ベース）の推移



### 【加入者向け広報】

↓ 社会保険いばらき（H29.6月号）

協会けんぽ茨城支部からのお知らせ

## ジェネリック医薬品

新薬の方がいいじゃない？  
効き目はあるの？  
そんなジェネリック医薬品への戸を  
ちょっと開けた！

ジェネリック医薬品（後発医薬品）とは、新薬（先発医薬品）と同等の有効成分・効果があると厚生労働省から認められている安価なお薬です。協会けんぽでは、加入者の皆さまのお薬代の軽減や医療費の効率化につながることから、ジェネリック医薬品の使用促進に取り組んでいます。

**Q. 新薬とジェネリック医薬品、効き目や安全性に違いはあるの？**

新薬と同じように有効成分が吸収されるかを検証する試験等を行っており、新薬と同等の効き目や安全性があることを厚生労働省が認めています。また、服用しやすいように工夫が図られているのも、ジェネリック医薬品の特徴です。

**Q. 海外ではどのくらい普及しているの？**

海外ではジェネリック医薬品が主流です。アメリカ、ドイツ、イギリスなどの医療先進国では普及率が70%を超えており、ジェネリック医薬品が主流となっています。日本では59.7%（平成27年10月時点、厚生労働省調べ）と、欧米諸国の使用率と比べると、まだ低い状況にあります。

**Q. なぜジェネリック医薬品は先発医薬品と価格が違うの？**

ジェネリック医薬品は、新薬に比べて研究開発費を大幅に抑えることができるためです。新薬の有効成分を利用して開発されるジェネリック医薬品は、開発期間やコストを大幅に抑えることが可能となります。そのため、価格を安く設定することができます。（先発医薬品よりも顕著に割安になる場合が多いです）

ジェネリック医薬品を希望される場合は、医師・薬剤師にご相談ください

※ すべてのお薬にジェネリック医薬品があるわけではありません。  
※ 使用できる病院（施設）が異なる場合や在庫がないときには取り替えることができない場合があります。

茨城支部では、ジェネリック医薬品の希望を医師や薬剤師にお伝えしやすくなるため、「ジェネリック医薬品希望シール」をお渡ししています。ご希望の方はお問い合わせください。

＜お問い合わせ先 029-303-1580（企画総務グループ）＞

↓ ムルマガ（H29.8.10配信）

【タイトル】  
ジェネリック医薬品に関するお知らせ（ジェネリック医薬品軽減額通知）をお送りします

【本文】  
協会けんぽでは、加入者の皆さまのお薬代の負担軽減が図られるほか、健康保険財政の改善にもつながることから、「ジェネリック医薬品」の普及を推進しています。

その取り組みの一つとして、ジェネリック医薬品に切り替えた場合に、お薬代の負担軽減額が一定額以上見込まれる方へ、1ヶ月分の自己負担額軽減可能額等をお知らせしています。

～（中略）対象者、送付時期の明記～

▽ジェネリック医薬品についての詳細はこちら  
↓  
～本部ホームページリンク～

↓ 納入告知書（H30.1.20）

ジェネリック医薬品軽減額通知をお送りします

ジェネリック医薬品に切り替えた場合、お薬代の負担軽減が一定額以上見込まれる方に、年に2回お知らせをお送りしています。平成29年度第2回目の通知は、平成30年2月中旬頃に発送します。

【お問い合わせ先 企画総務グループ ☎029-303-1580】

# 企画関係②・・・ジェネリック医薬品使用促進

## 【29年度の新たな取り組み】

### ◆薬局向け通知

◀目的▶ 自薬局の後発医薬品使用割合、県平均・二次医療圏平均との比較による位置づけを把握し、更なる使用促進につなげる。  
また、アンケートでの意識調査により、今後の使用促進策へ活用する。

◀時期▶ 平成30年1月

◀方法▶ 自薬局の位置づけを印した「後発医薬品に関するお知らせ」および、アンケートを送付

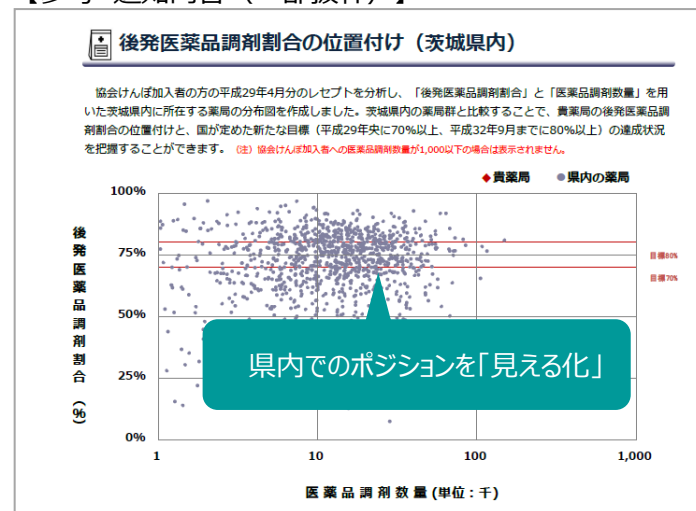
◀対象▶ ①医薬品数量が10,000以上、および  
②後発医薬品使用割合が70%未満または80%以上  
(調剤レセプトが存在する茨城県内の薬局：1,191薬局)

計 579薬局 ( 70%未満 338薬局、80%以上 241薬局 )

◀アンケート結果▶ 回答数245、回収率42.0%

- ・自薬局の後発医薬品調剤割合の位置づけに最も関心が高い。
- ・若年層の使用割合が低い点については、自治体の医療福祉制度が要因と指摘する薬局が多かった。
- ・自薬局の後発医薬品使用割合の要因を
  - 使用割合80%以上の薬局・・・薬局での案内、医師の処方箋
  - 使用割合70%未満の薬局・・・医師の処方箋、患者希望とする結果であった。

### 【参考 通知内容（一部抜粋）】





# 企画関係③・・・健康経営

## ◆健康づくり推進事業所認定制度

		28年度実績	29年度目標	29年度実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
健康づくり推進宣言	宣言事業所数	288	400	417	298	304	328	346	355	372	382	387	395	398	407	417
	新規宣言事業所数	118	112	120	10	6	24	9	9	17	9	5	8	4	9	10

## 【29年度の新たな取り組み】

### ◆健康経営リーフレットの作成・配布

「目的」

健康づくり推進事業所認定制度周知

「時期」

平成30年3月下旬発送

「方法」

・健康経営の概念、意義をわかりやすく伝えるマンガパンフレットを作成

・健康保険委員のいる事業所へ送付  
(3,705事業所)

新規認定状況 H30.4月14件、5月6件、6月21件

作成したリーフレット↓

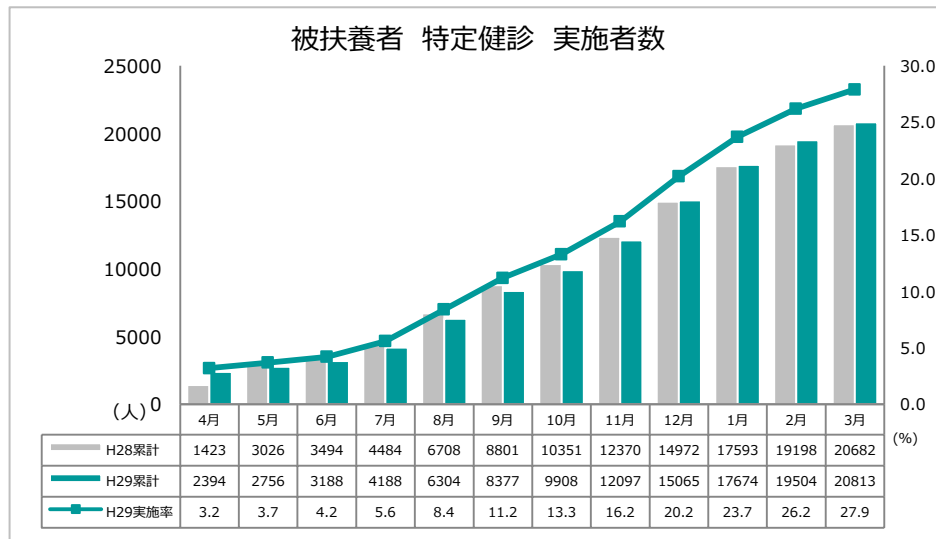
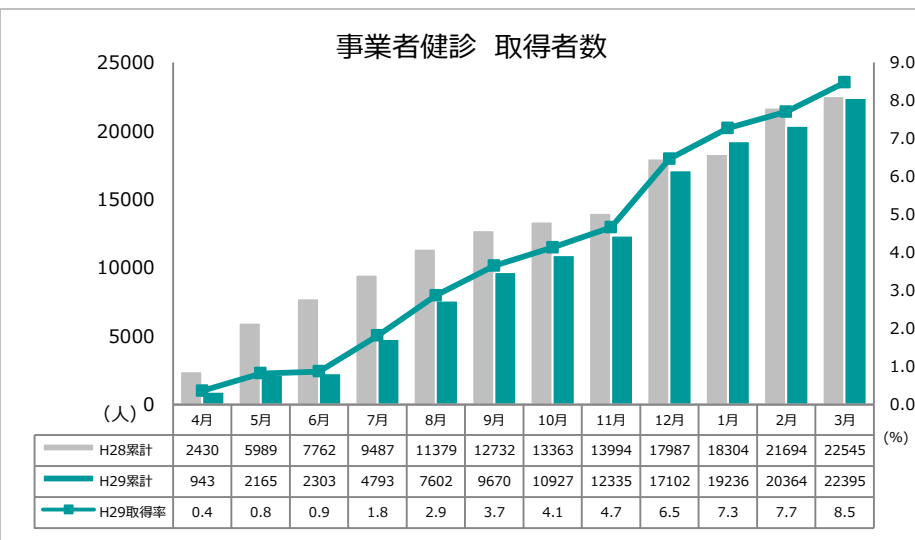
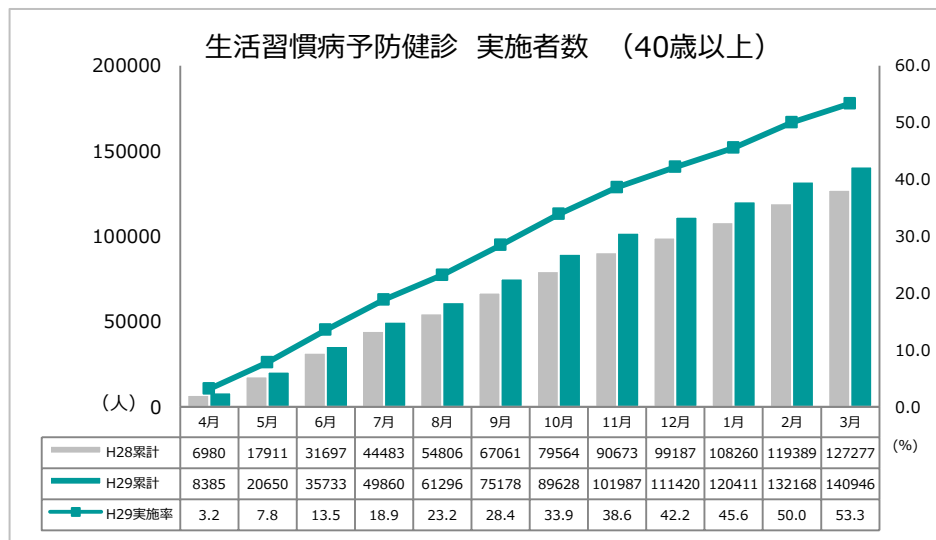
The collage includes several key documents:

- 健康づくり推進事業所認定制度 ステップのご紹介**: A 3-step guide to becoming a certified business establishment.
- 健康づくり推進事業所認定制度 周知**: A general awareness brochure.
- 健康経営**: A manga comic illustrating the benefits of health management for employees and the company.
- 健康経営リーフレット**: A leaflet explaining the concept and significance of health management.
- 健康づくり推進宣言書**: A certificate of certification for health management promotion business establishments.



# 保健関係①・・・健診・保健指導

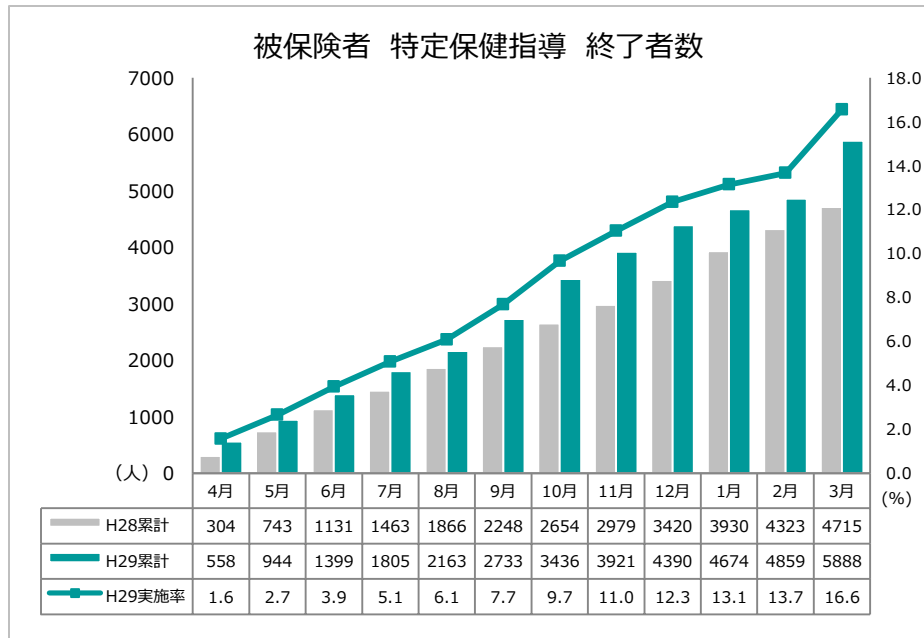
## ◆健診



- 生活習慣病予防健診 実施率  
29年度目標・・・58.5%  
29年度実績・・・53.3% (28年度 51.2%)
- 事業者健診 取得率  
29年度目標・・・16.5%  
29年度実績・・・ 8.5% (28年度 9.7%)
- 被扶養者 特定健診 実施率  
29年度目標・・・31.0%  
29年度実績・・・27.9% (28年度 29.9%)

# 保健関係①・・・健診・保健指導

## ◆特定保健指導



### ➤被保険者 特定保健指導 実施率

29年度目標・・・16.0%  
 29年度実績・・・16.6% (28年度 15.3%)

### ➤被扶養者 特定保健指導 実施率

29年度目標・・・10.0%  
 29年度実績・・・ 3.6% (28年度 0.9%)



# 保健関係②・・・未治療者に対する受診勧奨(重症化予防事業)

生活習慣病予防健診の結果、血圧・血糖値が「要治療」または「要精密検査」と判定された者で、健診受診前月・健診受診後3か月以内に医療機関に受診していない者(未治療者)に対して、生活習慣病の重症化を予防するために、早期に医療機関に受診するよう勧奨を実施。

①加入者のリスク種類に応じた勧奨文書を送付。

②「より重症域」にあると判断される方は、支部より文書発送または架電(茨城県医師会との連名文書)



平成29年4月～12月 勧奨実施状況 一次勧奨 5,829人、二次勧奨 1,577人

- 一次勧奨 (本部実施) : ①収縮期血圧160mmHg以上、②拡張期血圧100mmHg以上、③空腹時血糖126mg/dl以上、④HbA1c6.5%以上の何れかに該当
- 二次勧奨 (支部実施) : ①収縮期血圧180mmHg以上、②拡張期血圧110mmHg以上、③空腹時血糖160mg/dl以上、④HbA1c8.4%以上の何れかに該当

# 保健関係③・・・データヘルス計画（保健事業実施計画）

## ◆第1期データヘルス計画（平成27年度～平成29年度）

### 上位目標

#### 茨城支部被保険者のメタボリックリスク保有割合を減らす

※平成26年度に健診を受診した40歳～64歳の被保険者を追跡調査。平成29年度の健診結果と比較してメタボリックリスク保有割合を2%以上減少させる。

### 平成29年度 目標を達成するための手段

#### ①生活習慣病の改善や早期受診など、重症化予防に取り組む人を増やす

→医師による健康に関する講演実施（健康経営セミナー）、未治療者に対する受診勧奨、35歳～39歳メタボ予備群への生活習慣改善文書送付、ウォーキングの推進 など

#### ②事業主が従業員の健康管理に対する理解を深め、健診の受診や特定保健指導、保健事業を利用する事業所を増やす

→健康づくり推進事業所認定制度の普及拡大、禁煙認証制度の推進による事業所の喫煙対策、健康経営推進のための健康経営セミナー開催 など

#### ③トラック団体をはじめ、運輸業界で生活習慣の改善に必要なスモールチェンジに取り組む人を増やす

→茨城県トラック協会と連携した健康経営の普及促進、運輸業大規模事業所とのコラボヘルス など

# 保健関係③・・・データヘルス計画（保健事業実施計画）

## ◆上位目標に対する成果

- 平成26年度健診受診者（40歳から64歳の被保険者）のうち、平成28年度の健診データが存在するのは67,067人だった。そのうち平成26年度のメタボリスク該当者は10,593人、平成28年度のメタボリスク該当者は11,546人となった（メタボリスク保有割合15.8%→17.2%へ1.4%増加）。平成28年度にメタボリスクを改善した者は2,938人（平成26年度メタボリスク該当者のうち27.7%）、平成28年度にメタボリスク該当に悪化した者は3,891人（平成26年度メタボリスク非該当者のうち6.8%）となっている。（平成27年度はメタボリスク保有割合16.2%（+0.3%）、改善者27.8%、悪化者5.6%）

基準年度（平成26年度）		平成28年度		改善・悪化者数	
平成26年度 メタボリスク該当者	10,593人	平成26年度健診受診者の うち平成28年度 メタボリスク該当者	11,546人	平成26年度 メタボリスク該当 者のうち改善	2,938人 (27.7%改善)
平成26年度 メタボリスク非該当者	56,474人	平成26年度健診受診者の うち平成28年度 メタボリスク非該当者	55,521人	平成26年度 メタボリスク非該 当者のうち悪化	3,891人 (6.8%悪化)
メタボリスク 保有割合	15.8%	メタボリスク 保有割合	17.2% (+1.4%)		

# 健康づくりに関する各種イベントへの参画

---

## ◆茨城支部主催

- 7月24日 健康経営セミナーの開催（ホテルレイクビュー水戸）

## ◆茨城県関係

- 9月9日 健康づくりキャンペーン（イオンモール水戸内原）
- 10月8・9日 健康づくりフェスティバル（国営ひたち海浜公園）
- 10月16日 県立健康プラザウォーキング大会（日立市池の川さくらアリーナ）
- 11月3日 健康づくりブース出展（茨城キリスト教学園シオン祭）

## ◆土浦市

- 5月27日 土浦市ウォーキング大会

## ◆茨城県医師会関係

- 9月23日 健康フォーラムへのブース出展（骨密度測定）